

上田市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時

平成25年12月18日(水) 午後2時30分から午後3時57分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	城下 敦子
委 員	小市 正輝
委 員	山崎 順子
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

武井教育次長、浪方教育参事、齋藤教育総務課長、倉島学校教育課長、浅野生涯学習課長、小山人権同和教育政策幹、土屋文化振興課長、佐藤スポーツ推進課長、水野丸子地域教育事務所長、柳沢真田地域教育事務所長、児玉武石地域教育事務所長、大塚第二学校給食センター所長、田中中央公民館次長、樋口上野が丘公民館長、倉澤塩田公民館長、綿内川西公民館長、石井上田情報ライブラリー館長

傍 聴 者 1名

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 平成26年上田市成人式の実施概要について(生涯学習課)

(2) 平成27年上田市成人式の実施方法等について(生涯学習課)

資料1・資料2により浅野生涯学習課長説明(2件一括議題)

西田委員長

これまでの成人式に関して、時代を反映した式典の様子であったように思う。このことも踏まえながら新しくオープンする交流文化芸術センターをどう位置付けていくかということの提案だが、何か質問等があればお願いしたい。

小市委員

今年の成人式実行委員に、実行委員としてはどう考えるか聴いてあれば伺いたい。また、かつて旧上田市では市民会館一箇所で行っていた時期があり、そこに課題があったため今のような形で何箇所かに分かれて行われてきた。その経過を教えてください。

浅野生涯学習課長

新成人による実行委員会には、このことについてまだ投げかけていない。

また、これまでの経過としては、旧上田市の場合、かつて川西公民館と市民会館とに分離して開催しており、川西地区のみ川西公民館で行っていた。これが統一されたのが昭和55年であり、市民会館一箇所で開催することになった。その後、会場の厳粛性が保てない状態があったため、地域ごとに分散することとなり、平成11年は、西部公民館、文化会館、創造館、上野が丘公民館、塩田公民館の5か所で行った。平成12年からは今と同じ4会場となり、合併後7会場になった。

山崎委員

27年の成人式を新しい交流文化芸術センターで行うというのは、27年だけそこで行うということか。

浅野生涯学習課長

27年以降のことを考えると、一回だけで終われないのではないかと。

城下委員

個人の意見としては、せっかく素晴らしい施設ができるのだから、そこでやらないのは残念である。二十歳の成人式以降、交流文化芸術センターに行く機会はあまりないのではないかと。その施設にその後どれだけ足を運ぶかということを考えると、交流文化芸術センターで式典を行い成人のお祝いをしてもらうことは、大人になる門出としては素晴らしい記念になることだと思う。

このことについては、例えば、全員を同時刻に集めるのではなく午前と午後に分けるとか、全体の式は広いホールで行い、小ホールでは公民館ごとに分かれて実行委員によるアトラクションやゲームをやるということもできなくはない。何か工夫する方法もあるのではないかと。

山崎委員

昨年までの出席率は、平均で80パーセントぐらいである。主催者側としては、出席率をもう少し上げたいという希望はあると思うが、そのために交流文化芸術センターでやったほうがいいのか、それともそれぞれの地区ごとのほうがいいのかということも考えなくてはいけない。自分の娘は27年に成人式を迎えるが、創造館や上野が丘公民館の地区の友達は交流文化芸術センターでまとまってやりたいと言っているようだ。これは、地域によって違うかと思う。当事者の意見を聴くタイミングがないとのことだが、まだ時間的に余裕があるので、27年に成人を迎える人たちに意見を聞くことも可能ではないか。

小山教育長

日程的には余裕がない。交流文化芸術センターの予約は、13か月前から取らなければならぬ。また、先ほどの意見にあった大ホールを使ってから分散するということはむしろかしく、成人式をここでやるとすれば大ホールを使うことになるだろう。

しかし、27年1月といえば、まだ開館記念のさまざまなセレモニーが行われている最中である。今から、あらかじめ予約しておかないと使えない。

小市委員

どちらがいいのか悩むところであり、交通渋滞がどうなのか、天候によっても全く違う。いろいろなことを考えると、スムーズに会が始まるためには、今の形のほうが大きな時間の狂いもなくできるのではないか。

新しい施設ができたので、それを是非見てもらいたいという気持ちはあるが、例えば大雪が降ったような場合、開催が非常に厳しいということもある。実行委員に諮る前に、もう少し論議し、さまざまな想定をして判断する必要性もあるのではないか。

西田委員長

主催者は上田市であり、行政が主体で成人をお祝いする一方で、お祝いされる若人が千何百人おり、その千何百人の若い人達が何を考え、何を希望するか、どう喜んでくれるかという面がある。一方的に行政主体で行えば、本来の目的が果たされない。やはり、なるべく多くの人に参加してもらいたいし、そこには、成人としての自覚や、友達や恩師に会えたという喜びがある。主催者側の視点にプラスして、若い人たちの希望や意見を是非入れてもらいたい。

日程的に大変だが、例えば、今までどおりそれぞれの会場に分散して行い、お祝いのイベントだけを交流文化芸術センターでやるなど、別立てということもひとつあると思う。交流文化施設を、若い人達に身近なものとして感じてもらえるいいチャンスである。

もうひとつは、これは予測になるが、全体で行う式典が整然と行われるかそうでないかという危惧をどう考えるかである。

浅野生涯学習課長

過去、市民会館一箇所で始めたときには、ずっと喧騒状態が続き、中には一升瓶を持ってステージに上がる者もいた。一箇所に大勢が集まると非常に匿名性が高くなるためであり、そういう意味では騒がしかった。

また、一箇所で行った後に分散して地域に戻るといった方法も過去に試みたが、人が集まらなかったり、かえって騒ぎが大きくなったりと失敗した例があり、一会場式典のみになった経過がある。

児玉武石地域教育事務所長

武石地域では、本当にこじんまりとやっている。将来の夢を一人ひとりが前に出て発表する機会があり、それは、会場に集まった人たちだけではなく、地域の人たちもテレビ放送を観て知る機会にもなっている。それがなくなってしまうのは非常に残念である。

柳沢真田地域教育事務所長

真田地域では、新成人に実行委員をお願いして7、8人に協力してもらっている。自分たちで式を祝おうということで、職員主導ではなく実行委員主導で式を行うという状況である。手づくりの式典であり、自分たちで祝うという形が大変良い感じではある。

水野丸子地域教育事務所長

丸子地域では、セレスホールで行っており、来賓を合わせて300人ほどの規模である。特に、自治会長の皆さんにも出席いただき祝ってもらっている。セレスホールは800席あるので後ろのほうは閑散とした雰囲気もあるが、一方で地元のみなさんに祝ってもらうという面では今のところ好ましい。

樋口上野が丘公民館長

上野が丘は五中の中学校区域ということで、これまでも和気あいあいという中で実行委員会をつくり、パソコンを使っただのスライドショーなど手づくりでやっている。

倉澤塩田公民館長

塩田地域でも実行委員会形式をとっている。今年も8名の実行委員が6回ほど会議をしている。そういう面ではとてもいいことだと思っている。今はとてもいい雰囲気で行っているが、成人を迎える人たちにとっては、もしかすると違う形でやりたいという人もいるかもしれない。

綿内川西公民館長

創造館は四中と六中区域であり、実行委員会を形成し地域の人にも来てもらい三好町保育園の太鼓を聞きながら成人を祝うという会になっている。地域の人から見ると、身近な子どもたちが司会をして受付をして誓いの言葉を述べており、顔見知りの子たちが壇上に上がってやっているという感慨もある。300人ほどであるが、手づくりのいい式ができていると思う。

また、今年の成人式では、タイムカプセルを埋めた子どもたちが会場の隅でタイムカプセルを開けたいということがあり、それは小さい規模だから臨機応変にいろいろなことができるということもあると思う。

交流文化芸術センターホールで一堂に会するという、大きいところでの経験もいいかと思うが、やはり、式が粛々に行われるということに関しては、慌しくなるのではないかという懸念はある。

小山教育長

次回の定例会が1月16日に予定されているが、12日の成人式で、来年から交流文化芸術センターに上田市全部が集まってやるのがいいか、今年と同じように分散してやるのがいいか、交流文化施設の宣伝も兼ねてアンケートを取り、その結果を見ながらもう一度検討できないか。

西田委員長

対象になる若い人たちの意見をどこかできちんと汲み上げておくということは、どういう結論になるにしても大事である。

浅野生涯学習課長

1月12日に実施予定のアンケートの中に一項目追加して確かめたい。

小市委員

若い人たちの政治離れが言われ選挙の投票率が低い状況の中で、市長から直接話しを聞く機会は成人式ぐらいしかないのではないかと。そういう意味では一堂に会することがいいのではないかと思う。

もうひとつは、小さな集団をつくるということに今の若い人たちは非常に長けているが、大きな集団をつくり上げていくことが難しくなっていることが気になっている。

分散しても今はメディアが発達しているので、市長の話を大きなスクリーンに映すということができないこともなく、何らかの形で成人として市長を見るということも必要だと思われるので提案したい。

西田委員長

成人式のアンケートに項目を設けて、その様子を受けて次回定例会で最終判断することとしたい。アンケートを取ってもその読み取り方には難しい面もあるかと思うが、本日は教育委員会として判断はしない。

このことにより予算に関係はあるか。

浅野生涯学習課長

会場を変えたとしても影響はない。

全委員 継続審議とすることで了承

3 報告事項

(1) 平成25年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる

文部科学大臣表彰の受賞について(生涯学習課)

資料3により浅野生涯学習課長説明

小市委員

立ち上げ当時、大変苦労された方々がいる。そのみなさんの行動力があって受賞につながってきている。文部科学大臣から表彰があったということを、当時関わった方へ何らかの形で伝えてほしい。当時ご苦労された方々もよかったという気持ちになれるかと思う。

城下委員

ほかの学校の保護者には、塩田中の活動や浦里小のコミュニティースクールのことが意外と知られていない。表彰されたことをきっかけとして、上手にPRできたらと思う。目に見えるように簡単に広がっていくとは思えないが、上手にPRすることで、地域や保護者の意識も少しずつ変わっていくと思われるためよろしくお願したい。

全委員 了承

(2) 平成25年度「青少年善行表彰」及び「家庭の日」作文審査結果報告(生涯学習課)

資料4により浅野生涯学習課長説明

城下委員

善行表彰は、推薦者を申請する者がいて、それを審議するところがあって受賞が決まるという手続きでよいか。

浅野生涯学習課長

事務局では、青少年関係団体や自治会等に推薦者の照会をしている。また、新聞紙上等で報道されたものについては事務局がチェックしており、対象となる者は候補としている。

全委員 了承

(3) 市民による事業評価について(生涯学習課)

資料5により浅野生涯学習課長説明

西田委員長

委員の中には廃止という評価を下している箇所がいくつかある。その意見にはそれなりの根拠があると思うが、結果として廃止にはなっていないなくても、廃止という意見をどのように汲み上げているか。

浅野生涯学習課長

廃止の意見には根拠があるが、今回の結論は、ほとんどは改善して実施となっている。廃止の意見の根拠は拾い上げなければならないものであり、改善すべき点として多々盛り込まれている。

小市委員

青少年育成推進指導員制度は、旧上田市にはあるが旧3町村にはないということだが、今後、制度をつくっていく予定はあるか。

また、公民館が積極的に活動しており、学校との連携も非常に密にとっている。その点から、青少年育成推進指導員と公民館との連携はどのような状況か。

浅野生涯学習課長

青少年育成推進指導員制度は、旧上田地域のみで行われている。合併当時、この制度を広げようとする動きがあったが、丸子、真田、武石地域では、既に独自の青少年育成体制が進められており、この制度を市全体に広げるわけにはいかなかったという実情がある。この事業評価と提言を受けて、今後、これを尊重して検討していきたい。

また、公民館と推進指導員との関係であるが、実は、各分館の分館長、副分館長、分館主事、そしてこの青少年育成推進指導員、人権同和教育推進員の5人が分館5役として位置づけられており、したがって公民館とは常に密接な関係にあり活動している。

全委員 了承

(4) 第53回上田市短詩型文学祭実施報告(中央公民館)

資料6により田中中央公民館次長説明

山崎委員

投稿料の500円の集金は冊子をつくるためとのことだが、配布先はどこか。

田中中央公民館次長

応募者と小中学生は表彰者をはじめ投稿した子どもたちに直接配布している。また、関係する東信地区一帯の公民館、大学、市内の高校等にも作品集を配布し、今後の参考にしてもらっている。

西田委員長

上田市とその周辺ということだが理由は何かあるのか。

田中中央公民館次長

はっきりした経過は分からないが、近隣市町村でも短詩型文学祭はいろいろなところで行われている。選者も幅広く活躍されている方が多く、より多くの良い作品を集める目的で東信エリアに範囲を広げたと思われる。最近では、東信一帯にも広く募集チラシを配布している影響もあり、上田市周辺のみならず千曲市、南佐久などからも応募が増えてきている状況である。

全委員 了承

(5) 第17回うえだ城下町映画祭実施報告(文化振興課)

資料7により土屋文化振興課長説明

西田委員長

上田文化会館から映劇に会場を変えた理由は何か。

土屋文化振興課長

かつて、映画祭と名が付く前から映劇を会場にしていた時期があり、今回、映劇に戻ろうという話が実行委員会の中であった。また、ちょうど映劇自体が新作映画のロケ地になったことからロケ用の飾り付けもしてあり、見た目にも面白そうであったため会場として使ってみることにした。

全委員 了承

(6) 第8回子ども文化講座実施報告(文化振興課)

資料8により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

(7) スポーツ関係市長表敬訪問者報告(スポーツ推進課)

資料9により佐藤スポーツ推進課長説明

全委員 了承

(8) 行事共催等申請状況について(学校教育課・生涯学習課・文化振興課・スポーツ推進課)
資料10 - により倉島学校教育課長説明

全委員 了承

資料10 - により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

資料10 - により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

資料10 - により佐藤スポーツ推進課長説明

全委員 了承

4 その他

・田中中央公民館次長より公民館だよりの説明

全委員 了承

閉会